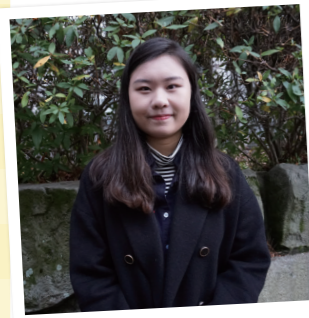


～韓国の国立釜慶大学から留学生が来ました～

あっという間に留学生活が終わりました。最初は他の国での留学生活がとても心配でしたが、兵庫大学で会った友達と先生方のおかげで無事に留学を終えることができました。日本でしかできないいろいろなことを経験しました。茶道部に入って有馬温泉で開催されたお茶会に参加したり、太子町マーケットにスタッフとして参加したり、本当にいい思い出をたくさん作りました。特に楽しい留学生活を送れたのは、寮長さんや寮の友達がとても優しくお世話をしてくれたのおかげです。この思い出は私の宝物として、ずっと大切にします。ありがとうございました。



キム スヨンさん

最初は日本語があまりできなくて不安でしたが、兵庫大学の多くの友達と先生方に助けていただいて大学生活に早く適応できました。ホームステイ先のご家族の皆さんには優しくいただいて、とても感謝しています。また日岡神社と太子町マーケットにスタッフとしての参加、兵庫大学エクステンション・カレッジ講座を通じ、地域の皆さんとの交流を深めることもできました。今は日本を離れることがとても寂しいです。兵庫大学での思い出は一生忘れません。



キム ヨンスさん

スクールのバスのデザインが変わりました!!

全面に広がる2本のラインを本学のスクールカラーに合わせて取り入れました。また、本学のタグラインとして掲げている「ありがとうのプロフェッショナルへ。」を多くの人に知っていただきたく、今回新しく側面に入れさせて頂きました。



編集後記

少しずつ、春の兆しを感じられる季節になってきました。「Hyodai Learning」vol.6では、「卒業する学生たち」をテーマに、卒業生に兵庫大学での経験について語ってもらいました。資格取得を目指して頑張った勉強や、ボランティアなどの課外活動、先生や友だちとの出会いなど、たくさんの思いを聞くことができました。たくさんの努力や経験を語りながら、素敵な笑顔を見せてくれた学生さんたちをととても頼もしく思います。これから社会の一員として、活躍してくれることを期待しています。なお、現代ビジネス学部は、来年度に初めて卒業生を輩出します。今回は、韓国からの留学生をご紹介します。最後になりましたが、取材にご協力いただいた学生さん、そして学生さんを支えてくださる全ての皆さまに、深く感謝申し上げます。

広報委員会ニュースレター作成チーム(李 良姫・瀬川 明・田中 育江)

Hyodai Learning

february 2019

vol.06

HYOGO University



ありがとうのプロフェッショナルへ。

「ありがとう」にあふれる人生を送ってほしい、それが私たちの願いです。

あらゆることに感謝の念を抱きながら、仕事をさせていただくこと。

他者にこころを寄せ、おたがいに認め合い大切にしようこと。

そして、他者とおたがいに譲りあい、助けあうこと。

すると、やがてあなた自身が「ありがとう」という感謝の言葉をいただくことができる専門家となります。

それこそが、私たちが目標とする“ありがとうのプロフェッショナル”なのです。

私たちはあなたの一生を支える力を育みます。

生きる力に変わる学びを、あなたに。

Theme
卒業する
学生たち

OPEN CAMPUS 2019

開催時間 11:00-16:30 受付開始 10:30(要予約)

3/17日 6/15日・16日

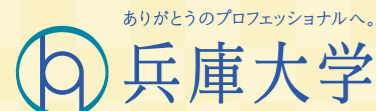
7/20日・21日 8/4日・24日・25日

9/8日 12/21日 2020 3/15日

PROGRAM

- ▶学科紹介 ▶日替り体験授業 ▶学生生活総合相談 ▶入試相談(AO相談含む)
- ▶保護者対象説明会 ▶受験対策講座 ▶キャンパスツアー など

※詳しくはホームページをご覧ください。



http://www.hyogo-dai.ac.jp

兵庫大学



公式サイト



受験生応援サイト

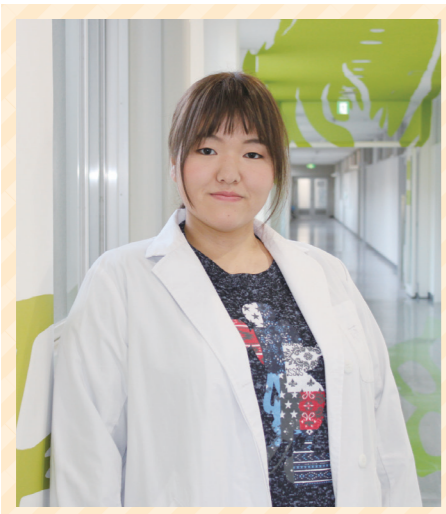


Twitter

Hyodai Learning



バックナンバー



栄養マネジメント学科 4年 藤城 美穂さん



健康科学部 栄養マネジメント学科

(管理栄養士養成施設)

私が栄養マネジメント学科に入学を決めたのは、料理関係の仕事をしたかったのがきっかけでした。

大学生活4年間を振り返ってみると、授業以外にもたくさんの経験が出来たと思います。

地域の健康教室や、親子料理教室、パンの開発・販売などの取り組みを通して、失敗したこともあります。その時どう対応すればよいか考えたり、経験者からアドバイスを頂くことで、教科書だけでは得られない多くの事を学ぶことができました。兵庫大学では、自分自身が積極的な姿勢でいると、様々な事にチャレンジできる機会が多くあります。4年間で様々な活動に取り組んだことで、臨機応変に対応できる力が身についたと実感しています。



健康科学部 健康システム学科

兵庫大学は他の大学に比べて小規模ではありますが、それによって先生や学生間の距離が近く関係が密になるところが良いところだと思います。

健康システム学科は「健康」について学ぶ学科だったので、4年間で運動や心身の機能について詳しく学ぶことができました。また、教職科目も履修できるため、大学の授業で知識を学び、地域の中学校や高校に行き、学んだことを実践することで、自分に何が足りないのか、自分の得意なところはどこなのか明確になり、「教員」になるというイメージが付きやすかったです。また、授業以外でも部活動やボランティアに積極的に参加しました。普段の生活では体験できないことが体験でき、兵庫大学で過ごした4年間で心も体も大きく成長することが出来ました。



健康システム学科 4年 柳原 康汰さん



社会福祉学科 4年 清水 翼さん



生涯福祉学部 社会福祉学科

私は人前に出ると緊張してしまい、発表することが苦手でした。しかし、社会福祉学科に入学し、遊びや楽しさを通して子どもや障害のある方や高齢者などに支援を行う「福祉レクリエーション」という授業で、自分でレクリエーションを考え、仲間に伝えるということを繰り返し行うことで自分の考えや思いを他者に分かりやすく伝える方法を身に付けることができました。様々な人の前で話す機会が増え、次第と発表することへの苦手意識もなくなりました。自分の思いを伝えると相手の気持ちも聞くことができ、人に寄り添うということを実感することが出来ました。そして「ありがとう」という言葉をたくさん言ってもらえるようになりました。また、社会福祉学科で「福祉レクリエーションワーカー」の資格が取れるようになったので、初めて学内で実施された筆記試験と実技試験に挑戦し、3年生の終わりに無事に資格を取ることが出来ました。この資格や、社会福祉学科で学んだことを卒業後、活かしていきたいと思っています。



生涯福祉学部 こども福祉学科

こども福祉学科では、授業や子どもとその保護者を対象に、キャンパス内で遊びの場を提供する「こども大学」で学生スタッフとしての経験を通し、実習までに保育の知識をより多く身に付けることが出来たと思います。また、実習までに先生方とも信頼関係が築けるため、実習に対しての不安を話すことができました。その中で、アドバイスをたくさん頂け、不安もありましたが、頑張ろうと強く思えました。実習では、保育者も子どもたちと一緒に楽しみながら保育を行うことの大切さを学びました。子どもたちと一緒に楽しむことで、遊びを発展させることに繋がったり、なにより子どもたちがとても楽しそうにしていました。遊びを通し、子どもたちが様々なことを学んでいけるような保育を展開し、どんなときでも笑顔で関わることのできる保育士を目指します。



こども福祉学科 4年 大岩 利佳子さん



看護学科 4年 河田 義生さん



看護学部 看護学科

僕が4年間の大学生活の中で1番印象に残っていることは実習です。実習前の成人看護学援助論ではシミュレーションルームやナースステーションを使用して演習することにより、より現場に近い緊張感を体験することができ、自信ができました。また、臨地実習では、受け持った患者様のバイタルサイン測定や日常動作の援助などの技術面の他、多職種連携、患者様とのコミュニケーションの取り方など、現場でしか学べないことも多くありました。現場を経験する中で、患者様の急変や想定外の事態など戸惑うこともありましたが、実際に患者様と触れ合うことで、今その患者様に何が必要であるのかを「自分で気づく力」が身についたと思います。その中で患者様からの「ありがとう」という言葉は本当に励みになり、やりがいを感じました。社会人になっても患者様に求められるような看護師を目指したいと思います。



保育科第三部 3年 豊田 陽花さん



短期大学部 保育科第一部／保育科第三部

私は、授業が午前中のみで、午後は計画的に自分のやりたいことができることに魅力を感じ、保育科第三部に入学しました。授業はもちろん、授業以外の時間にはピアノの練習や、ボランティア活動に励み、毎日とても充実していました。実習では、悩んだりすることもありましたが、それ以上に得るものがたくさんあり、ますます保育者になりたいという気持ちが強くなりました。就職活動では、保育科の先生方には専門教養やピアノの弾き歌い、模擬保育など、熱心な指導をして頂きました。また、大学内の教職・学習支援センターに自ら通い、公務員対策の講座を受けたり、面接練習をして頂きました。そのおかげで、目標にしていた公立の保育・教育職に合格することが出来ました。大学生活で学んだことを忘れず、子どもたちの心に寄り添い、毎日笑顔の絶えない保育者になれるよう努力していきたいと思っています。